

高等部 総合サービス科 1～3年 道徳科 学習指導案

日 時：令和7年9月29日（月）9：45～10：35

場 所：福祉実習室、各学年教室

生 徒：男子12名、女子10名、計22名

指導者：畠澤裕佳（T1）、中野貴洋（T2）

泉 良昌（T3）

1 題材名

「相互理解・寛容」

～みんなちがって、みんないい～

2 生徒と題材

(1) 生徒について

高等部総合サービス科は、1年生8名（男子5名、女子3名）、2年生7名（男子3名、女子4名）、3年生7名（男子4名、女子3名）の計22名が在籍しており、全員が一般就労を目指している。

どの学年も様々な学習の中で対話的活動を積み重ね、自分の意見や考えを友達や教師に伝え、また相手の話を聞きながら、「いいね。」や「なるほど！」と共感する姿が見られている。自分の意見を整理することが苦手で時間が掛かる生徒もいるが、事前に考える時間を設けたり、友達と意見交流をしたりすることで、自分で考えをまとめ、伝えられるようになってきている。また、2、3年生の中には、これまでの経験や活動を通して周りの友達や下級生の立場、相手の気持ちをくみ取って行動しようとする生徒もいる。一方で、思い込みが強く、否定的に物事を捉える生徒や、周りの気持ちを考えず自分のことを優先する生徒もいる。また、日常的な雑談はできても、自分の思いを伝えることは苦手で、自分の考えや行動に自信をもてない生徒もいる。

昨年度の道徳の授業では、2、3年生は「尊重」について3学年の縦割りグループで話し合い、劇やクイズ等を考え発表する学習を通して、相手の意見を否定せず受け入れる大切さを学んできた。今年度はこれまで3学年の縦割りグループで、礼儀（挨拶・身だしなみ・言葉遣い）の大切さに関する発表に向け、話し合い活動を行ってきた。主に2、3年生が中心になり、これまでの経験を生かしたアイデアや意見を自分から伝え、「なぜ挨拶は必要なのか」や「よい言葉遣いは相手もよい気持ちになる」などの意見を出す生徒の姿が見られた。1年生は初めての縦割りグループ活動で、周りの話をよく聞いたり、上級生から意見を問われた際に自分の意見を伝えようとした様子が見られた。

(2) 題材設定理由

将来の自立と社会参加を目指す生徒にとって、他者とよりよい関係を築いていくことは極めて重要な力であると考え、学校卒業後を見据え、様々な物事について多角的な視点を持ちながら自分の考えや意見を発信するとともに、様々な人の考えや意見を理解しようと互いに尊重することがよりよい関係づくりのために大切になる。そこで、中学校学習指導要領特別の教科道徳、内容項目B - (9)「相互理解・寛容」の「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」がよりよく生きるための基盤になると考えた。

本題材では、最初に自己と他者の個性を理解し尊重することができるよう、自分の長所や課題、得意なことなどについて考えるとともに、友達のいいところ探しを行う。それを踏まえ、人の見方や考え方にも個性があることを理解し、テーマや事例を基にディベートを実施する。これらの学習を通して、広い視野をもって物事を考え、自分とは異なる見方や考え方を受け入れようとする態度が育まれると考える。

様々な価値観の中で自他の個性や意見を尊重しながら、自分の意見を周りに伝えたり、多角的に考えたりする学習を通して、様々な相手や状況において謙虚な気持ちをもって周りの人と意見を伝え合ってほしいと考え、本題材を設定した。

(3) 指導について（下線は「学部で目指す生き生きと学ぶ姿」につながる手立て）

【児童生徒一人一人が自ら活動したり考えたりすることができる状況づくり】

- ・本題材では、「テーマや事例について自分の意見を考える」「意見交流」「再度テーマについて自分の意見を考える」を一連の流れとして実施する。
- ・話し合いが活発になるよう、授業の導入では生徒の興味関心の高い身近なテーマでアイスブレイクを行う。なお、全員が安心して意見を伝えることができるよう、伝え方や順番などを指定して実施する。

- ・自分の考えをまとめられるよう、話し合う前に一人で考える時間や近くの人と意見を交換する時間を設ける。
- ・自分の立場や意見をありのままに表現することができるよう、中立的なテーマや事例を設定する。

【自然な協働性を生むテーマ設定や学習活動、学習集団の工夫】

- ・授業の導入では、5分間程度のアイスブレイクを3～4人の少人数グループで毎時間実施し、異学年同士で伝え合う雰囲気をつくる。
- ・生徒それぞれの経験値の違いによる様々な意見を共有し合うことができるよう、3学年の縦割りグループを編成する。生徒全員が自分の意見や考えを表現する機会を増やすことができるよう、グループの人数を7～8人とする。
- ・ディベートでは、最初にテーマや事例に対する自分の立場を考えた後、議論を行い、再度自分の立場や対応を考える時間を設定する。立場に応じて様々な角度で物事を考えたり、友達の意見を聞いて自分の考えを広げたりすることで、いろいろなものの見方や考え方を学ぶ大切さや、自分の考えの変容を実感することができるように考える。

【多様な場や人材の活用】

- ・ディベートで扱う事例は、自分のこれまでの経験を生かして様々な角度から意見を考えたり、課題意識をもって活動したりすることができるよう、総合サービス科の専門教科（流通・サービス、家政、福祉）や今後の社会生活に関連する内容を設定する。

3 題材目標

様々な意見や考えを尊重しながら、意見を伝え合うよさに気づき、広い視野と心で物事を考えようとする態度を養う。

4 題材計画（総時間数8時間／本時7時）

時	学習活動	指導内容	評価規準
2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の長所や得意なこと、課題を振り返ったり、友達のよいところを見付けたりする。 ・相互理解をするために自分がしていること/できることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「相互理解・寛容」 ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性を尊重する。 「個性の伸長」 ・自己を見つめ、自己の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達について日常生活やこれまでの経験を振り返り、考えようとしている。 ・自分を理解してもらおう/相手を理解するために必要なことについて、これまでの生活から考え、今後の生活に生かそうとしている。
6 (5/6時)	<ul style="list-style-type: none"> ・言動から想定される様々な背景を考える。 ・テーマに応じたディベートをする。 ①コミュニケーションに大切なことは？ (話すこと/聞くこと) ②接客で小さい子どもへの話し方はどうする？ (マニュアル通りの言葉/親しげな言葉) ③時間内に仕事が終わらないときどうする？ (協力する/やり遂げる) ④高齢の方がずっと話しているときどうする？ (そのまま聞く/自分も話す) ⑤意見が合わない人がいたらどうする？ (多数決をとる/話し合う) ・事例に応じた自分の対応について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「相互理解・寛容」 ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、いろいろなものの見方や考え方があることを理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマや立場に応じて、様々な角度から捉えて考えようとしている。 ・いろいろな意見と自分の意見を比較しながら、自分の考えを捉え直そうとしている。 ・相手や場面が変わっても、広い視野をもって謙虚に、他者から学ぶ大切さを感じ、実生活に生かそうとしている。

5 生徒の実態と目指す姿

1 グループ（1年教室）

氏名・学年	実態	単元を通して目指す姿
A 1年	日常生活の中で多面的に物事を捉えることに課題はあるが、具体的な事例については様々な角度から考える。	事例について自分の見方だけではなく、様々な角度から捉えて考えようしたり、学習を生活に生かそうしたりする。
B 1年	自分で考え、意見を整理することが苦手だが、親しい相手と意見交換をして、自分の意見を整理する。	周りの人の意見を参考にしながら自分の意見を整理し、表現しようとする。
C 2年	自分の気持ちや意見を簡潔に伝えることに課題はあるが、紙に書き出すことで内容を整理し自分の思いを伝える。	様々な意見や考え方があることを知り、友達とのやりとりを通して自分の考えを深めようとする。
D 2年	自分の考えや意見をまとめることは苦手だが、考える時間を十分に設けることで意見をまとめ、話す。	友達や教師とのやりとりなどを通して、自分の意見や考えを深めようとする。
E 2年	物事を多面的に捉えることは苦手だが、相手の話をよく聞き、自分の気持ちも具体的に話す。	友達や教師とのやりとりを通して、様々な見方や考え方があることを知り、自らの意見や考えを深めようとする。
F 3年	自分の気持ちを言葉にするまでに時間は掛かるが考える時間を設けたり、例えを示したりすると自分で話す。	友達とのやりとりを通して、気付いたことや分かったことを取り入れ、自分の意見を整理しようとする。
G 3年	語彙の少なさから、抽象的な表現になることもあるが、自分の気持ちを素直に話す。	周りのいろいろな意見を参考にしながら、自分の意見を整理し、最後まで話そうとする。
H 3年	自分の気持ちを適切な言葉で表現することは苦手だが、メモを取りながら話を聞くことで自分の考えを整理する。	自分の意見を適切な言葉にして、最後まで全体に話そうとする。

2 グループ（2年教室）

氏名・学年	実態	単元を通して目指す姿
I 1年	自分の意見に自信がもてないことがあるが、周りの意見を参考にし、自分の意見に取り入れようとする。	意見を周りの人に伝えたり、周りの人の意見と照らし合わせて自分の意見を再構築したりする。
J 1年	自分と異なる意見を受け入れることに課題はあるが、いろいろな角度から物事を考えようとする。	自分とは異なる意見を認め、自分の意見と照らし合わせながら意見や考えを一層深めようとする。
K 1年	自分の意見を整理することは苦手だが周りの意見や考えに触れることで自分の意見を考える手掛かりにする。	友達や先輩とのやりとりを通して、気付いたことや分かったことを取り入れ、自分の意見を整理する。
L 2年	集団の場で積極的に発言する機会は少ないが、個別に聞くと自分の意見や考えを具体的に話す。	自分の意見や気持ちを伝え、相手の話を聞きながら、自らの考えを見つめ直そうとする。
M 2年	相手の話を受け入れ、肯定的に捉えることに課題はあるが、自分の考えをはっきりともち、相手に伝える。	先輩や後輩とのやりとりを通して様々な見方や考え方があることを知り、物事を肯定的に捉えようとする。
N 3年	自分の考えを整理して言葉にすることは苦手だが、事前に考える時間を設け、考えをまとめる時間があれば意見を話せる。	友達や教師とのやりとりを通して、自分の意見を見直し、ワークシートに記入したり、意見を話したりする。
O 3年	意見を求められると自分なりの考えを発言する。他の人の意見もよく聞いていて、疑問に思ったことは確かめる発問をする。	相手の発言を丁寧に聞き、内容に応じた返答や相づちをうちながら、自分の考えを深めようとする。

3 グループ（3年教室）

氏名・学年	実 態	単元を通して目指す姿
P 1年	意見を整理し伝えることは苦手だが、周りの意見をよく聞き、自分の意見に取り入れようとする。	周りの人の意見を照らし合わせて、様々な内容や立場に応じた自分の意見や思いを表そうとする。
Q 1年	周りの意見を素直に聞き入れ、異なる意見でも理解しようと質問したり、自分で考えようとしたりする。	友達や先輩とのやりとりを通して、気付いたことや分かったことを取り入れ、自分の意見を整理する。
R 1年	一つの見方で考えることは多いが、周りの言動を受けて自分から他の考えや意見に気付く。	いろいろな意見を考えようとしたり、周りの人の意見を理解し、自分の考えを見直したりする。
S 2年	相手の意見を受け入れることに課題はあるが、自分の意見を持ち、積極的に発言する。	相手の気持ちを考え、異なる意見に対しても前向きな言葉でやりとりし、自らの考えを深めようとする。
T 2年	自分の気持ちを素直に伝えたり、相手に積極的に質問し、自らの考えを深めようとする。	様々な意見があることを知り、自分なりの意見をまとめ、相手に伝えようとする。
U 3年	独特な表現や言葉を使うため意図が伝わらないこともあるが自分の気持ちを言葉にして表現する。	自分の意見や思いを周りに正しく伝えるために、他の人の気持ちを丁寧にくみ取って、適切な言葉を選んで話そうとする。
V 3年	自分なりの意見を発表したり、発言に苦労している友達に話題を提供したりし他者の意見も大切にしようとする。	様々な角度からいろいろな意見を考えたり周りの意見に付け加えたりして、自分や周りの考えを深めようとする。

6 本時の計画（8時中の7時）

（1）本時のねらい

様々な角度から物事を考える大切さに気づき、広い視野をもって生活していこうとする態度を養う。

（2）個別のねらい

1 グループ（1年教室）

氏名・学年	ねらい	手立て
A 1年	様々な角度からテーマについて考え、自分の考えを深めようとしている。	「どうしてだと思いますか。」「どんな気持ちだと思いますか。」と問い掛ける。
B 1年	友達や先輩の意見を聞きながら、自分の意見を考えようとしている。	周りとの意見交換する時間を設けたり各グループで出た意見を模造紙で掲示したりする。
C 2年	様々な見方があることを知り、自分の考えを深めようとしている。	友達の意見と比較して、教師が「どうしてそう思いましたか。」と問い掛ける。
D 2年	教師とのやりとりを基に、様々な視点で自分の考えを整理しようとしている。	自分の意見や考えを整理したり、友達の意見を見比べたりする機会を設ける。
E 2年	友達や教師とのやりとりを通して、様々な視点で考え、自分の意見を見直そうとしている。	「どうしてだと思いますか。」「なぜそうしましたか。」と問い掛ける。
F 3年	友達や先輩とのやりとりを通して、自分の意見をまとめようとしている。	自分の感じ方や考えを整理して、意見として発表する時間を設ける。
G 3年	様々な捉え方や感じ方があることを知り、自分の考えを深めている。	自分の感じ方や考えを整理し、気付いたことを自分で整理する。
H 3年	友達や教師とのやりとりを通して、自分なりの意見をもとうとしている。	自分の考えを整理して、意見として発表する時間を設ける。

2 グループ（2年教室）

氏名・学年	ねらい	手立て
I 1年	これまでの経験から感じたことを重ねて事例について考えようとしている。	「自分が～な立場だったらどうですか。」や「いままで経験はありますか。」と問い掛ける。
J 1年	周りの様々な意見と自分の意見を照らし合わせ、自分の考えを見直そうとしている。	周りの意見を受けて再び自分の意見を考える時間を設ける。
K 1年	友達や先輩とのやりとりを通して、自分の意見を考えようとしている。	自分の意見や考えを整理し、友達の意見と比較する時間を設ける。
L 2年	周りの様々な意見と自分の意見を照らし合わせ、自分の考えを見直そうとしている。	周りの意見を受けて「どう思いますか。」と問い掛け、感じたことを話す時間を設ける。
M 2年	友達や教師とのやりとりを通して、様々な視点で考え、意見を整理している。	「どうしてだと思えますか。」「～の立場だったらどう思えますか」と問い掛ける。
N 3年	友達や後輩、教師とのやりとりを通して自分の考えを整理している。	自分の意見や考えを見直し、友達の意見と比較する時間を設ける。
O 3年	様々な考え方に共感を示し、意味を見付けようとしている。	様々な考えを広げることができるよう「反対の立場で考えるとどうですか。」と問い掛ける。

3 グループ（3年教室）

氏名・学年	ねらい	手立て
P 1年	友達や教師とのやりとりを通して、自分事として意見を考えようとしている。	友達の意見を見比べたりする機会を設けたり、教師が「どんな気持ちになるか。」「どうするか。」と問い掛ける。
Q 1年	友達や教師とのやりとりを通して、様々な考え方があることを知り、自分の考えを深めている。	周りとの意見交換する時間を設けたり各グループで出た意見を模造紙で掲示したりする。
R 1年	自分のこれまでの経験を重ねて、テーマについて様々な角度から考えようとしている。	「どうしてだと思えますか。」「どんな気持ちだと思えますか。」と問い掛ける。
S 2年	友達や教師とのやりとりを基に、様々な視点で自分の考えを深めている。	友達の意見と比較して、教師が「どうしてそう思いましたか。」「それはどうしてだと思えますか。」と問い掛ける。
T 2年	様々なものの見方があることを知り、自分の考えを深めている。	自分の意見や考えを整理し、友達の意見と比較する時間を設ける。
U 3年	友達や教師とのやりとりを通して、自分の考えを整理したり、捉え直したりしている。	「それはどういうことですか。」「その場合どう考えたらよいと思えますか。」などと問い掛ける。
V 3年	様々な考え方に対し、自分なりの感じ方や意見と摺り合わせて話題にしている。	発展的な展開につながるよう、「こんな場合はどうですか。」など言葉掛けをする。

(3) 学習過程

時間 (分)	学習活動	教師の働き掛け、指導上の留意点 ※下線は「学部で目指す生き生きと学ぶ姿」につながる手立て
5	1 本時の事例とめあてを知る	<ul style="list-style-type: none"> 全員が事例の状況を理解し自分の意見を考えることができるよう、ワークシートに加えてスライド資料で事例を説明する。 問：あなたがAさんだったら、どうしますか。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">めあて：おばあさんの気持ちや、自分だったらどうするか考えよう。</div>
5 25	2 自分の立場と理由を考える 3 3グループに分かれディベートを行う (1グループ:T3) (2グループ:T1) (3グループ:T2)	<ul style="list-style-type: none"> 自信をもって自分の意見を話したり、考えを広げたりすることができるよう、自分で意見を考えた後に少人数グループで意見交流をする。 全員が自分の意見を伝えられるよう、「一人一意見以上」「自分の言葉で話す」「最後まで話を聞く」などのルールを示す。 考えの手掛かりとなるよう、生徒の発言を簡潔にシートに記入する。 反対の立場の意見を自分と照らし合わせて考えることができるよう、途中で自分の立場を変えてもよいことを伝える。 考えを広げることができるよう、意見に悩む生徒や意見が限定されているグループなどの状況に応じて、気付きを促す発問をする。また、自分の立場と反対の立場に移動して考える時間を設ける。 問：おばあさんはどんな気持ちだと思いますか。 おばあさんはどうして話していると思いますか。 Aさんはなんで迷っていると思いますか。
5	4 各グループの意見を全体で共有する	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループで出された様々な意見を知り、より考えを広げることができるよう、グループの代表者がグループ協議の内容を整理して発表する。
5	5 自分だったらどうするかを考える	<ul style="list-style-type: none"> ディベートや発表を通して、自分の考え方の変容を理解したり、自分事として捉え直したりすることができるよう、「自分だったらどのように対応するか」考える時間を設ける。また、考える手掛かりとして、<u>掲示している各グループのディベートの内容を参考にする</u>よう言葉掛けをする。
5	6 振り返りシートを記入する	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を通して感じたことや分かったことをまとめたり、学びの履歴を残したりすることができるよう、振り返りシートに記入するよう促す。

(4) 評価

<生徒の評価>

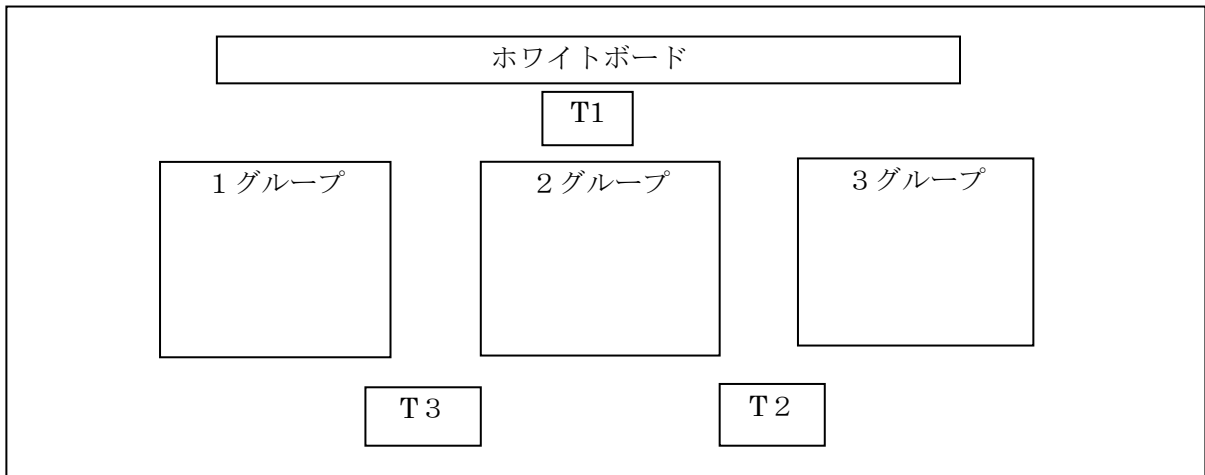
- ・本時のねらいに沿って評価

<教師の手立ての評価>

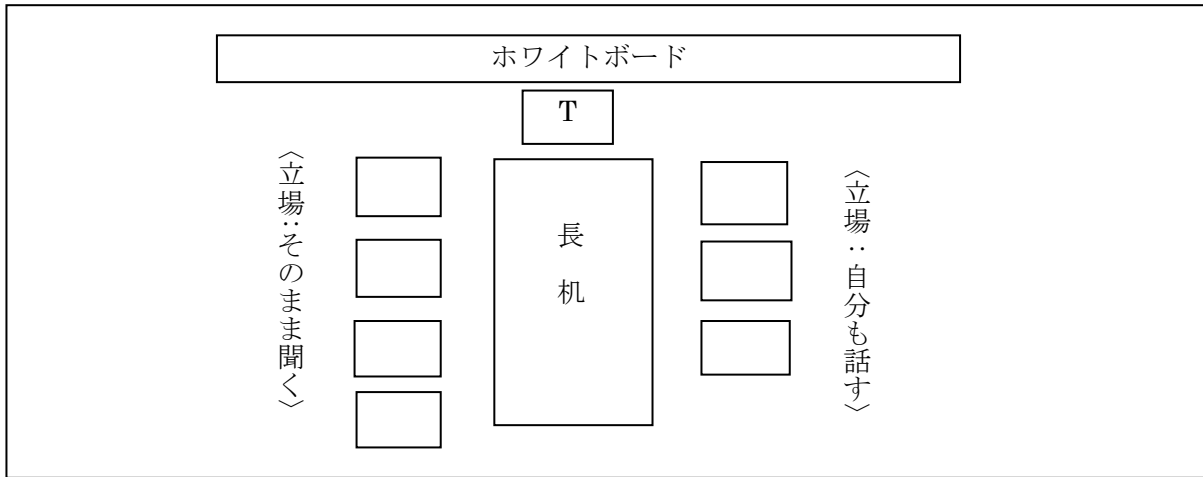
- ・本時のねらいを達成するための教師の手立ての評価

(5) 配置図と板書計画

【全体配置図】(福祉実習室) ※学習活動4時以外



【各教室配置図】(1年教室、2年教室、3年教室) ※学習活動4時



【板書計画】

道徳 相互理解・寛容
～みんなちがってみんないい～

各グループのディベートの内容

事例
介護施設のおばあさんがずっと話しているとき、あなたならどうする？

ずっとそのまま聞く 自分も話す

めあて
おばあさんの気持ちや、自分だったらどうするか考えよう。

①
グループ
メンバー

②
グループ
メンバー

③
グループ
メンバー

①
グループ

②
グループ

③
グループ

(6) 本時の事例とスライド資料

【事例】

Aさんは介護施設で働いています。
施設長からは利用者さんとよくコミュニケーションをとるようにと言われています。
おばあさんがずっと楽しそうに話をしていますが、Aさんは自分も話した方がよいか迷っています。

【スライド資料】

